

会員の声

水戸黄門

坂本 要子 (豊田)

テレビは好きでなく勤めてる頃は、自分からスイッチを入れる事はなかったような気がしますが、今は、水戸黄門にハマっています。

1969年6月から42年間続いた伝説の長寿時代劇の再放送です。

水戸藩主の徳川光圀の別称とか越後のチリメン問屋の隠居という身分を隠して全国各地を漫遊して世直しを描いた創作物語の時代もの(月曜～金曜まで)です。ストーリーは毎回決まっているし何故こんなに引きつけられるのか自分で解りません。(制作された時のテレビは見なかったのに)見終わった後のスカットする爽やかな気分は最高です。

十月から六年ぶりに復活した新水戸黄門にはまだなじまないですが、水戸黄門の御隠居のように誰とも話し、助け合い、笑っておおらかな気持ちで過ごせるよう、高齢になるにつれ思う今日この頃です。

干支7回を迎えて

松村 稠雄 (大朴)

オギャーと産声を上げて、早や7回目の戌年を元気で迎えることができました。ありがとうございます。これも今は亡き両親・家族そして温かくお付き合い下さった皆様のお蔭と只々感謝の念一杯です。

思えば、尋常高等小学校から国民学校となりその一年生として入学。そして十二月八日第二次世界大戦が…。運動場には芋を作り、イナゴ・ゲシを食べそして終戦。

六・三・三・四制度が生まれ、中学校は又々その一年生。卒業後は牛に挽かれての農業。出稼ぎ等々。いろんな事がありました。でもこうして元気に7回目の干支年を迎えられることの喜びは云い表わせられない事実です。

今年1年、シルバー人材センター会員の皆様はじめご家族の皆様(私にとっても)佳き1年でありますことを願ってペンをおかさせていただきます。

健康で元気に働く

川口 博三 (豊田)

家庭菜園に精を出しています。一般的な野菜は一通り、チョット変わったところで、レンコン・コンニャク芋・落花生・白ナス等、果樹は、ぶどう・ポポー・みかん・ネーブル・キウイ・スモモ・ブルーベリー・イチジク・グミ・柿・サクランボ・アンズ・栗・梨・ユズ・リンゴ等を育てています。どれも満足に行くものは有りません。しかし、知人におすそ分けし、美味しかったと言ってもらった時は、ヤッターと心の中で喜んでいきます。又、旅行も楽しんでいきます。観光を兼ね四国八十八ヶ所、西国三十三ヶ所巡礼、無事満願、最近では、信州蓼科に行き、温泉に入り、郷土料理や美味しいものを食べ満足しました。他に、年5～6回釣りに出かけます。豆アジやサヨリ等の小物から、釣り堀での鯛・ブリ等の大物までいろいろです。これらの事が出来るのも、健康で元気に働かせてもらっているおかげです。感謝。

第二の人生

西田 肇 (下大久保)

友人の紹介で行政機関の宿直業務を担当し、シルバー人材センターへの入会となりました。

奇しくも、現職時代に立ち上げた機関でもあり、籍を置くとは思っていなかったので馴染み深く感じました。

センターには多くの業務があり、中高年の方が自分に適した職につきはつらつと働いています。私の業務で一番緊張するのは火災等緊急時の放送対応です。伝達機器のマニュアルを何度も確認し、春先や冬場は特に気が許せない状況です。

夜間の仕事になるので多くの方と終始接することはないのですが、顔馴染みもあり、働く喜びや人との繋がりを大切に第二の人生の職場と受け止めています。他に、農業をはじめとして、集落事業や各種団体の役員、ボランティア、家庭にあっては孫との関わりなど多忙な毎日を送っています。今年が戌年。私にとっては節目の年男となります。今後、健康で益々充実した日を送りたいと念じております。